

全 員 協 議 会

日 時 令和3年9月14日（火）
本会議終了後
場 所 議場

付議事項

地域運営組織と地域の拠点づくりについて （市民活動推進課）

地域運営組織と地域の拠点づくりについて

1. 経緯

(1) 協創によるまちづくり

令和2年度に「協創によるまちづくり」推進指針が策定され、人と人とのつながりを基盤に地域課題を解決していくことで、まちの持続可能性を担保し、未来に向けての山陽小野田市のまちづくりを推進していくこととしています。

2. 地域づくりの活動

(1) 本市の地域活動の主な内容

防災（自主防災組織・防災訓練・避難所運営）、防犯（パトロール、見守り活動、防犯外灯）、環境美化（クリーン作戦、ゴミ集積所の管理）、青少年健全育成（補導、声かけ）ふれあい交流事業（文化・体育にわたって）、高齢者福祉（敬老会、会食サービス）道路・公園等の維持管理、健康づくり、情報共有（住民相互の連絡） など



(2) 地域の課題

各地域の特性により直面している地域課題は様々で、少子化、高齢化、担い手不足、空き家問題、域内交通、買い物難民、健康寿命の延伸と広範であり、市役所内での担当課も市長部局内で多岐にわたります。

これらの「地域課題」の解決にむけて取り組むことは、協創指針の理念の具現化を目指すことにも繋がり、そのためには、ソフト、ハード両面で環境を整えることが必要です。

(3) 地域を取り巻く状況

【課題① 担い手不足、高齢化】

- ・後継者探しが、団体の存続に向けての人員を確保することだけに留まりがち
- ・中心となる人が 高齢化しており、メンバーが固定化されてしまいがち

【課題② 地域への参画意識の低下】

- ・誰かがするから自分は参加しなくてもよいという参画意識の低下がみられる
- ・地域の伝統行事など存続が困難になりつつある

【課題③ 価値観・ライフスタイルの多様化】

- ・近所付き合いが希薄化している
- ・地域団体や地域行事に対する必要性の考え方に違いが出始めている

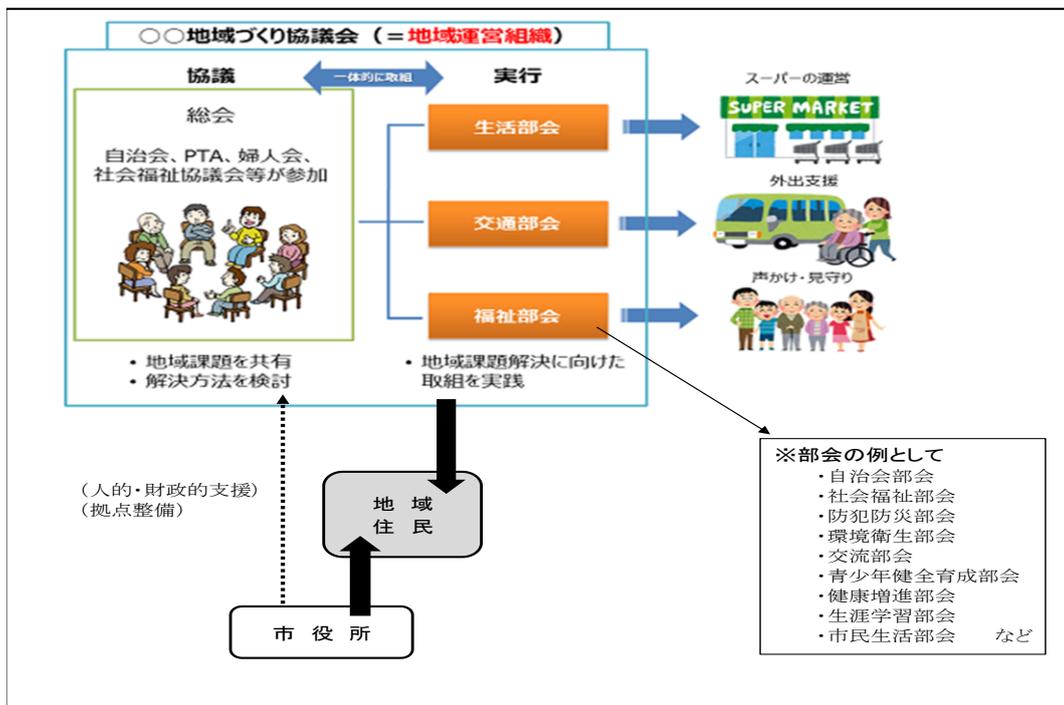
【課題④ 個人・他団体との連携】

- ・地域内の組織、団体間、個人の活動状況の情報量が少ない

(4) 地域運営組織

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた「地域経営の指針」に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織

※地域運営組織イメージ



3. 地域ごとの活動拠点

(1) 設置目的

地域課題解決に主体的かつ総合的に取り組むための市民活動の拠点として、「ひとづくり」を目的とする公民館を、「地域づくり」「まちづくり」に進化させ、また「つながりづくり」を進めることにより、活力ある持続可能な地域社会の実現を図ります。

(2) 機能

- ・生涯学習の場
- ・地域運営組織の活動拠点
- ・市民活動団体の交流の場
- ・地域福祉の活動拠点
- ・その他 地域課題解決のための活動拠点
- ・住民交流の場（一定の制約のもとでの営業活動も可（地域特産物販売など））